

あおばえんきほんりねん  
青葉園基本理念

1. 青葉園は、重度障害者の生活拠点的場であり、またその場作りをめざし続ける。
2. 生活拠点的場とは、重度障害者一人ひとりが豊かに自己を実現し、いきいきとくらししていく為の土台となる場であり集団である。
3. 生活拠点的場であるためには
  - ①まず、通所者自身の健康管理・増進がはかられていなければならない。
  - ②園内の様々なきめこまかなとりくみによって、個性や可能性を見出し、のびし、十分に自己を実現していなければならない。
  - ③園が地域に開かれており、多くの人々とかわりがもて、様々な機会が用意されるといふ、自由と豊かさがなければならない。
4. 青葉園のとりくみは、生産性・効率や、単なる身辺自立のみを追求する活動とは根本的に異なり、通所者や職員・親など園にかかわる全ての人たちが一体となって共に考え、悩み、理解し合い、そして主体的に生き会うくらしを創造していくことを基本目標にしている。
5. 青葉園は、重度障害者の生活拠点を作りあげていくことを通し、ひいては、一般の人にとっても、一人ひとりが人間のあるべき姿を問い続け、失いかけている生活拠点をとりもどし、より豊かなくらしを作り上げていくための重要な公共的・社会的資源である。
6. 自己を十分に実現できる場をもち、いきいきと暮らしていくこと、またそれをめざし続けることは、人間として当然の姿であり願いである。それはどんなに障害が重くとも追求され続けるべきであり、基本的人権のひとつである。